

# タイラギの生息状況について（55点調査結果）

平成27年11月9日

佐賀県有明水産振興センター

## 1. 目的

この調査は毎年1回実施し、タイラギの生息状況を広域的に把握するものである。

## 2. 調査年月日

平成27年10月7～9、20～22日の6日間。

## 3. 調査方法

- ① 潜水器船で、1隻1日あたり5地点ずつ、合計55地点を調査した。
- ② 各調査地点において、100mのロープを潮流方向に張り、ロープ沿いの幅1mの範囲内にみられた生物を採取した。
- ③ 採取した生物は、水産振興センターに持ち帰ったのち、殻長、重量等を測定した。

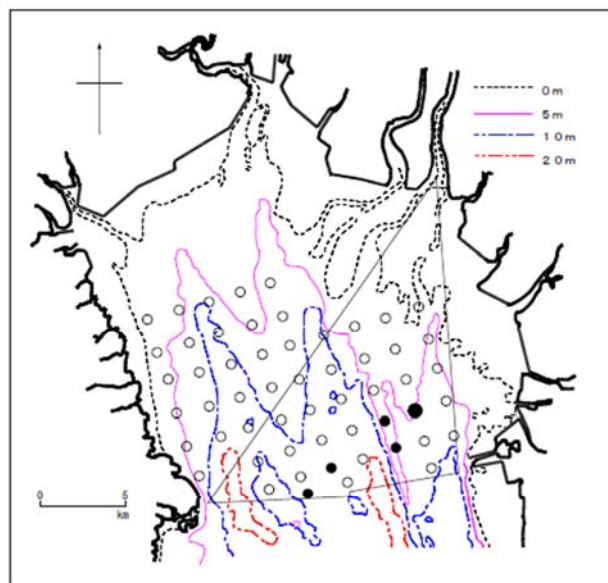
## 4. 調査結果

### ① タイラギ成員の生息状況

・ 下図に示したとおり、生息地点数は55地点中5地点で、100㎡当たり1～10個が採捕された。

・ 5地点での生息密度は0.01～0.10個/㎡、採取したタイラギの平均殻長は137.7mm（100.4～177.8mm）、平均貝柱重量は2.4g（0.2～6.1g）であった。

・ なお、昨年度の調査では、生息地点数は55地点中1地点で、確認個体数は3個体であった。



調査日：平成27年10月7～9、20～22日

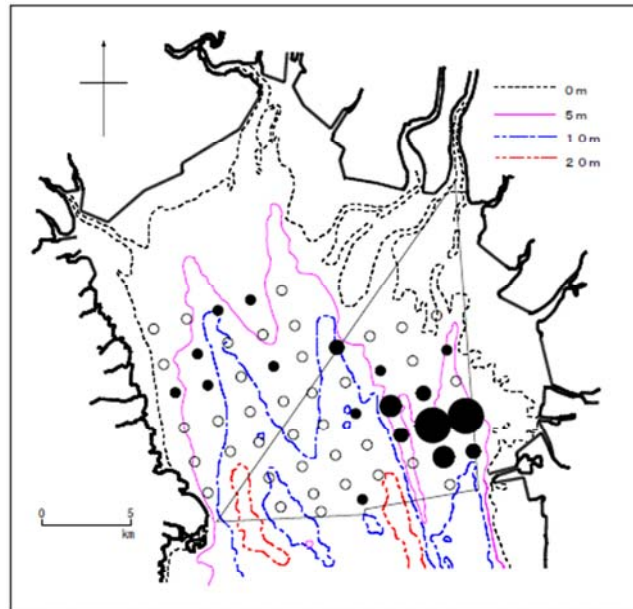
● :  $\geq 100$ 個体/100㎡   ● :  $< 100$ 個体/100㎡  
● :  $< 50$ 個体/100㎡   ● :  $< 10$ 個体/100㎡  
○ : =0

タイラギ成員生息密度（27年度55点調査）

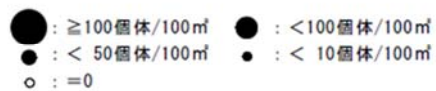
## ②タイラギ稚貝の生息状況

・ 下図に示したとおり、稚貝は55地点中18地点で確認された。生息密度は大牟田沖で比較的高く、最高で100m<sup>2</sup>当たり709個が採捕され、平均殻長については、60.7mm (32.0~95.2mm) であった。

・ なお、昨年度の調査では、生息地点数は 55 地点中 20 地点で、確認個体数は最高で 100 m<sup>2</sup>当たり 118 個体 (大牟田沖) であった。



調査日：平成27年10月7~9, 20~22日



タイラギ稚貝生息密度 (27年度55点調査)